

## ○日程等

日 程：令和4年11月11日（金）13：30～15：00  
場 所：大洲河川国道事務所（WEB会議）  
参加機関：四国地方整備局（大洲河川、山鳥坂ダム、肱川ダム）、  
愛媛県（大洲土木事務所、西予土木事務所）大洲市、西予市、内子町、大洲警察署、  
大洲地区広域消防事務組合、西予市消防本部、松山地方気象台  
愛媛大学大学院 森脇教授、NPO環境防災総合政策研究機構 村中理事  
報道機関：愛媛新聞

## ○概要

第8回策定部会では、令和4年度の出水対応をふりかえりや来年度のタイムラインの検討を行った。

令和4年タイムライン運用において、タイムラインを立ち上げた対応は12回あり、そのうち危機感共有会議を開催した対応は4回、流域タイムラインの最大ステージは台風第14号対応におけるステージ3であった。

令和4年度の出水対応では、土日の出水に備えるため、休日前に危機感共有会議を開催したり、自治体が暗くなる前に避難情報を発令するために会議の開催時間を調整する等、関係機関と連携して災害に備えることができた。

また、愛媛大学より情報共有アプリについて情報提供していただいた。このアプリには避難情報を共有する機能とメッセージの送信・受信をする機能があり、要支援者・要配慮者から自治体まで迅速な情報共有することが可能になる。

## 次第

1. 挨拶（森脇教授）
2. これまでの取り組みについて
3. 令和4年度出水期対応のふりかえりについて
4. 肱川流域（水防災）緊急対応TLの改善について
5. 現地情報の共有について
6. 今後の進め方について
7. 総評（村中理事）、（松尾教授ビデオ）

情報提供：情報共有アプリ（愛媛大学）

## ○状況写真



森脇教授 挨拶



会議状況



情報共有アプリについて